

令和5年度 通学路安全推進会議 点検箇所一覧

番号	箇所名	通学路の状況・危険の内容	対策内容(案) ※会議にて協議後、各関係機関にて要検討
①	立野地区 本線橋交差点及び自衛隊西側横断歩道 (町道 立野線及び町道 苔野・田手村線)	【危険状況】 設置されているポールが破損しており、歩行者の交差点待機時の安全確保ができていない。	【ハード面】 防護支柱の設置
②	力田地区 田手都市下水路の落下防止柵設置要望 (町道 力田・田手宿線)	通学する子供が水路に落ちる危険性があるので落下防止柵を設置してほしいとの要望あり。水量は大人の膝より下ぐらいである。道路がせまいため、転落防止柵をつけることで、水路側を歩行した場合には車と転落防止柵に挟まれる危険性もある。水路に落ちてしまう危険性と比較した場合にどちらの方が危険なのか検討が必要。	【ハード面】 転落防止柵の設置、道路南側のカラー塗装 【ソフト面】 水路の反対側を通学するよう指導
③	下三津東地区 東脊振小学校南交差点 (町道 下三津東・中核工業団地線及び吉田・下三津東線)	○約2m程の塀があり、死角が生まれている。西側から来る車が一時停止線を超えてきた場合大変危険。東側にカーブミラーが設置されているが、見づらい。	【ハード面】 子供目線で確認がしやすい、歩行者用カーブミラーの設置。 路面表示「止まれ」部分のカラー塗装 歩行者用注意喚起シールの設置 ラバーボールの設置 【ソフト面】 道路東側カーブミラー確認の指導